



## ランチョンセミナー 25

日時 【現地会場/ライブ配信】2021年 9月20日(月) 12:00～12:50  
【オンデマンド配信】2021年 10月1日(金)～10月31日(日) (予定)

会場 第13会場(2号館3F会議室232・233) 110席 \* Web開催併用

# COVID-19 および耐性菌対策として考える 陰部洗浄方法の見直し (陰部清拭用ワイプを導入して)

座長 **大友 陽子** 先生 (国際医療福祉大学成田病院 感染制御部)

演者 **三浦 美穂** 先生 (久留米大学病院 感染制御部)

### 参加 方法

セミナーを現地参加または Web 視聴いただくためには、事前に学会参加登録が必要となります。詳細は、学会ホームページをご確認ください。

<https://www.jsipc2021.org/jizen/>

※事前参加登録期日:【現地参加】9月15日(水)まで

【Web参加】9月20日(月・祝)17:00まで



**【ランチョンセミナー現地参加には整理券が必要です】**

※整理券配布日時:9月20日(月)7:30～11:30

場所:1号館1階アトリウム

# COVID-19 および耐性菌対策として考える 陰部洗浄方法の見直し（陰部清拭用ワイプを導入して）

当院は 2016 年に高度救命救急センター（以下、救命）において Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae : CRE のアウトブレイクを経験した。その後は、手指衛生と環境清掃の強化、排水口消毒、CRE 対応従事者の固定化など、考えられる範囲での対策を実施しているが、それでも断続的に新規 CRE が検出されている。その要因の一つとして、陰部洗浄ボトルを使用したオムツ交換による環境汚染が考えられた。その背景として、CRE が腸内細菌科細菌であり排泄に係わる処置やケアによる環境への伝播の可能性があること、陰部洗浄に使用した器材などを汚物処理室で洗浄しており、その排水口から CRE が検出されていることが挙げられる。

そのため、救命内でオムツ交換時の陰部洗浄の改善を検討している中、2020 年 4 月に救命で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者を受け入れることになった。COVID-19 部屋では陰部洗浄ボトルを病室に持ち込まないことを原則としたため、その代用として陰部清拭用ワイプシート（以下、ワイプ）を用いた方法を選択した。使用後の現場の意見としては「清拭だけなのでケアの時間が短縮された」「陰部洗浄ボトルの管理をしなくていいから楽」「水を用いた洗浄の代用になるのか疑問」など様々な意見がでた。また、清拭ワイプでは肌荒れしないことも重要であるため、皮膚トラブルの有無も確認したがびらんなどの発生は認めなかった。

この経緯を踏まえ、褥瘡専従看護師等にアドバイスを仰ぎ、ワイプ使用に際して当院独自の患者選択アルゴリズムを作製し、ワイプ使用が可能な患者が分かるように配慮した。その上で、費用対効果を鑑みてワイプ導入に踏み切った。導入までの工夫と使用状況、その評価方法などを紹介する。

## Key word

耐性菌対策

陰部洗浄ボトル廃止

ワイプ使用のアルゴリズム

洗浄概念のパラダイムシフト

共 催：第 36 回日本環境感染学会総会・学術集会 / 株式会社メディコン

## 株式会社メディコン

本社: 大阪市中央区平野町2丁目5-8 (平野町センチュリービル9F)

☎0120-036-541

[crbard.jp](http://crbard.jp)

